

2020年度事業報告書

特定非営利活動法人 京都市地域ITアドバイザー会

1 事業の成果

2020年度は発生した新型コロナウイルス問題に翻弄された一年であった。主に市民講座を開催しているひとまち交流館のいくどもの閉館で、ほとんどの市民講座は開催中止を余儀なくされた。コロナ感染防止策を取りながら開催する方策をとった。そのような中で、スマホサポート事業として月一回開催の「スマホ・タブレット茶話会」はひとまち交流館の会館に合わせて断続的ではあったが開催できた。開催できない月はLINEにてオンラインの集まりを催して、参加者を募った。また下京老人福祉センターでは年間を通してスケジュールを確保していただき、「スマホの交流会」を開催した。コロナ禍の中座談会的な形式で始めた物を、教室型講習会形式の開催に変えテーマを設けて行い、数回はお休みとなったが概ねの開催数を実施することが出来た。年度末には中京老人福祉センターでも依頼が入り3回開催することができた。次年度は左京老人福祉センターでも開催される。全般的にパソコン講習の需要は減少しているがスマホの普及にともない依頼が増えていることは重要だ。新たにマンツーマンで対応するスマホの相談会を開催し、使い方や様々な疑問の解決を目指した。モバイル分野のスキルアップを目指してテキストの配布と資格試験受験料を一部補助し、モバイル基礎・実務検定の受験を促進し2名の合格者を輩出した。この検定の合格を目指し検定を受験する中で、一定検定のレベルを確認することができ、CITAの能力確認に効果があると考えた。スキルアップにはZOOMを利用した勉強会を月2回のペースで実施し効果をあげたと考える。パソコン講習はコロナ禍の中開催に苦慮し減少した。サポートする私たちのモチベーションを維持することもままならない一年であったが、正CITA1名を生むことが出来た。準CITA認定研修には5名の参加があった。また、必須カリキュラムのYouTube視聴型の講習に移行できるか研究した。ZOOMを利用した理事会を開催し、講習や勉強会の開催に習熟し使い方のサポートができるようにした。Web171普及PR活動を活動テーマとしてとらえている。今年度PRIはほとんどできなかったが引き続き取り組む。ラジオcafeでNPO法人を紹介してもらった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(名)	受益対象者の範囲及び人数(名)	支出額(円)
(事業一般市民の高齢者、困窮者を対象にパソコン講習を行う①②)	ひとまち市民講座 (CITA会直轄として開講) 市民講座、続市民講座	2020/9/12～ 2021/3/17	ひとまち交流館 パソコンコーナー	49	一般市民 高齢者 64	82,960
	上記併催PC相談会 ②④	2020/9/12～ 2021/3/17	ひとまち交流館 パソコンコーナー	1	一般市民 高齢者 3	
	Web171普及PR活動	不開催	ボランティアフェスタ で災害伝言板 Web171体験会実施		一般市民 高齢者	
	ZOOM講習	2021/3/7	ひとまち交流館 パソコンコーナー	2	一般市民 2	
	パソコン整備貸し出し PC40台の機能向上整備	2019/4/1～ 2020/3/31	ひとまち交流館	8	講習会に使用	
講師紹介コーディネート事業 (地域の団体などから講師紹介依頼があった際にインストラクター登録CITAから講師を紹介する③④)	聚楽学区楽友会 パソコン同好会	2020/7/14～ 2021/3/13 月2回	上京区 元聚楽小学校	24	一般市民 高齢者 82	①に含む
	京都市下京老人福祉センター スマホ講習	2020/6/16～ 2021/3/16	京都市下京老人福祉センター	18	一般市民 高齢者 110	
	京都市中京老人福祉センター スマホ講習	2021/1/29～ 2021/3/31	京都市北老人福祉センター	48	一般市民 高齢者 46	
	カデコ(関西伝統工芸品ボランティアガイド協会S G G 関西)	2020/10/18	ひとまち交流館	1	一般市民 高齢者 8	
スマホ・タブレット市民茶話会	スマホ・タブレットの利用交流会	2020/7/6～ 2021/3/1	パソコンコーナー	16	一般市民 48	0
テキスト作成事業 (新しいテキストの作成や改訂を行う⑤)	スマホ講習用、ZOOM講習用他テキスト作成	2021/3/31まで	ひとまち交流館京都	8	各講習会に使用	0

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(名)	受益対象者の範囲及び人数(名)	支出額(円)
Windows10Upgradeサポート	Win7からWin10へバージョンアップ	2020/3～ 2021/3	ひとまち交流館 パソコンコーナー	1	1	0
準CITA認定講習 (全単位取得を済ませた方を準CITAと認定します⑦)	京都市準地域 ITアドバイザー認定研修 認定証発行	2021/2/28	ひとまち交流館京都	3	一般市民 5	15,898
CITA指導者養成講座 (全単位取得を済ませた方を正規CITAと認定します⑦)	ワード	コロナ感染防止の為不開講	ひとまち交流館 パソコンコーナー		準CITA 認定者	12,100
	エクセル	コロナ感染防止の為不開講	ひとまち交流館 パソコンコーナー		準CITA 認定者	
	ネットワーク	コロナ感染防止の為不開講	ひとまち交流館 パソコンコーナー		準CITA 認定者	
	CITAポリシー	コロナ感染防止の為不開講	ひとまち交流館 パソコンコーナー		準CITA 認定者	
	パワーポイント	コロナ感染防止の為不開講	ひとまち交流館 パソコンコーナー		準CITA 認定者	
	モバイル基礎検定対策	2020/7/8～ 2021/1/21	ZOOM勉強会 自宅学習	20	準CITA 認定者 136	
	インストラクションとコミュニケーション	コロナ感染防止の為不開講	ひとまち交流館 パソコンコーナー		準CITA 認定者	

貸借対照表

NPO法人 京都市地域ITアドバイザー会
全事業所

[税込] (単位: 円)
2021年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	3,494		
当座預金	483,850		
普通預金	766,753		
現金・預金計	1,254,097		
(その他流動資産)			
前払費用	9,960		
その他流動資産計	9,960		
流動資産合計		1,264,057	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器備品	1		
有形固定資産計	1		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	1		
無形固定資産計	1		
固定資産合計		2	
資産合計			1,264,059
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	64,000		
流動負債合計	64,000		
負債合計		64,000	
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		1,261,145	
当期正味財産増減額		△ 61,086	
正味財産合計		1,200,059	
負債及び正味財産合計			1,264,059

財 産 目 録

NPO法人 京都市地域ITアドバイザー会
全事業所

[税込] (単位: 円)
2021年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金 3,494

当座 預金 483,850

普通 預金 766,753

現金・預金 計 1,254,097

(その他流動資産)

前払 費用 9,960

その他流動資産 計 9,960

流動資産合計

1,264,057

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品 1

有形固定資産 計 1

(無形固定資産)

ソフトウェア 1

無形固定資産 計 1

固定資産合計

2

資産合計

1,264,059

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金 64,000

流動負債合計 64,000

負債合計 64,000

正味財産

1,200,059

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

NPO法人 京都市地域ITアドバイザー会

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費		93,000	
【事業収益】			
市民講習事業①②	36,000		
準CITA認定講習事業⑦	15,000	51,000	
【その他収益】			
受取 利息	7		
雑 収 益	105,900	105,907	
経常収益 計			249,907
【経常費用】			
【事業費】			
市民講習事業①②	82,960		
準CITA認定講習事業⑦	15,898		
CITA指導者養成講座事業⑦	12,100		
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
通信運搬費(事業)	8,810		
賃 借 料(事業)	18,584		
その他経費計	27,394		
事業費 計		138,352	
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
旅費交通費	100		
通信運搬費	32,368		
消耗品 費	133,285		
賃 借 料	5,238		
雑 費	1,650		
その他経費計	172,641		
管理費 計		172,641	
経常費用 計			310,993
当期経常増減額			△ 61,086
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 61,086
当期正味財産増減額			△ 61,086
前期繰越正味財産額			1,261,145
次期繰越正味財産額			1,200,059

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

NPO法人 京都市地域ITアドバイザー会
全事業所

[税込] (単位: 円)

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	93,000		
【事業収益】			
市民講習事業①②	36,000		
準CITA認定講習事業⑦	15,000		
【その他収益】			
受取 利息	7		
雑 収 益	105,900		
経常収益 計			249,907
【経常費用】			
【事業費】			
市民講習事業①②	82,960		
準CITA認定講習事業⑦	15,898		
CITA指導者養成講座事業⑦	12,100		
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
通信運搬費(事業)	8,810		
賃 借 料(事業)	18,584		
その他経費計	27,394		
事業費 計			138,352
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
旅費交通費	100		
通信運搬費	32,368		
消耗品 費	133,285		
賃 借 料	5,238		
雑 費	1,650		
その他経費計	172,641		
管理費 計			172,641
経常費用 計			310,993
当期経常増減額			△ 61,086
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 61,086
当期正味財産増減額			△ 61,086
前期繰越正味財産額			1,261,145
次期繰越正味財産額			1,200,059

2021年度事業計画書

特定非営利活動法人 京都市地域ITアドバイザー会

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

コロナウイルス問題で講習の実施が困難な状況にある。リモートで総会開催を行ったが、CITA各自の環境が解決課題としてあった。

また、パソコン・スマホの普及に変化があり正CITA認定に対してあらたな資格条件を検討してきた。大きくは正CITA条件からの講師要件をはぶき、別資格としてCITA講師資格を設定する。さらに正CITA資格をOFFICEとモバイルに分け、OFFICE CITA認定条件にMOS資格を持つ方には必須カリキュラム受講免除をカリキュラムごとに設定する。またモバイルについては「モバイル実務検定、モバイル基礎検定」の合格をもってモバイルCITA認定要件をクリアしたものとするが「コミュニケーションスキルとプレゼンテーションスキル」の受講は必要である。CITA講師認定にあたっては、講師講座の受講後、模擬講習の実施と認定試験を実施する。

以上であるが、今期この内容を吟味し成案をえて実施する。

今年度の必須カリキュラム実施については可能な限り感染防止のうえ集合研修を十分に配慮し実施する。パソコン市民講座に加えてスマホの講座開発も課題として進める。CITAのスキルアップについても受講パウチャー券の発行や、スマホテキストの配布、検定の受験補助なども今年度続けて行く。

2021年度は感染防止対策のうえ講習会を開催する。スマホサポート事業として月一回開催の「スマホ・タブレット茶話会」と「スマホの相談会」をひとまち交流館で開催する。「スマホ教室」を下京老人福祉センター、中京老人福祉センター、左京老人福祉センターでも開催する。その為さらにCITAのサポート参加を募る。一般的にパソコン講習の需要は減少しているがスマホの普及にともなう依頼が増えていることは重要だ。モバイル分野のスキルアップを目指してテキストの配布と資格試験受験料、合格者の認定書発行費、更新料を一部補助し取得を促進する。この検定の合格を目指して検定を受験する中で、一定検定のレベルを確認することができ、CITAの能力確認に効果があると考えられる。スキルアップにはZOOMを利用した勉強会を実施したが効果をあげたと考えるので続行する。パソコン講習需要減少は著しいと感じるが、マクロなど仕事を効率よく進める為の需要はあるのではないかと捉えて2021年度は検討実施していく。初歩的な操作講習から初級、発展形、楽しめるパソコンを切り口に、その所にマッチした講習の展開を模索して行く。サポートする私たちのモチベーションを維持することもままならないが、ZOOMを利用した講習や勉強会の開催に習熟し使い方のサポートができるようにすすめる。Web171普及PR活動を活動テーマとしてとらえているが引き続きすすめる。長期にわたり活動に様々な貢献をされた方で、ご事情により一線を退かれた方を顕彰し「名誉CITA」とさせて頂く。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
市民講習事業	一般市民の高齢者、困窮者を対象にパソコン講習を行う Web171の普及PR活動を行う① (併設PC相談会)②④	通年	ひとまち交流館など	120名	高齢者及び困窮者 250名	150
	スマホ・タブレット茶話会①					
講師紹介コーディネート事業	地域の団体などから講師紹介依頼があった際にインストラクター登録CITAから講師を紹介する②	通年	京都市	30名	依頼団体による	0
テキスト作成事業	新しいテキストの作成や改訂を行う。シニアスマホ検定の研究⑤	通年	京都市	14名	会員30名	0
サロン認定事業	CITAサロンを認定し、受講希望者に紹介をする。⑥ 希望があれば認定を検討する	通年	京都市	0名	0ヶ所、0名	0
準CITA認定講習	全単位取得を済ませた方を準CITAと認定します⑦	毎年2月	ひとまち交流館京都	5名	一般市民10名	35
CITA指導者養成講座	必要単位取得を済ませた方を正規CITAと認定します⑦	通年	ひとまち交流館京都	5名	準CITA10名	
	講師養成講座、講師認定検定を済ませた方をCITA講師と認定します⑦	通年	ひとまち交流館京都	5名	準CITA10名	
スマホ・タブレット茶話会	スマホ・タブレットの基礎講座が出来る指導者養成講座研究⑦	通年	ひとまち交流館京都	2名	CITA会員10名	90
基礎講座	基礎講座で指導者養成講座前の基本確認⑦	通年	ひとまち交流館京都	2名	CITA会員10名	50

今年度の予算はコロナウイルス感染防止行動の影響により事業の展開を想定できず、会内の活動を強化し状況が改善した時点をめざして研修実施に力を注ぐ予定です。

2021年度予算

NPO法人 京都市地域ITアドバイザー会

[税込] (単位:円)

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費 93,000

【事業収益】

市民講習事業①② 36,000

講師コーディネート事業③④ 0

準CITA認定講習事業⑦ 15,000

CITA指導者養成講座事業⑦ 0 51,000

【その他収益】

受取 利息 7

経常収益 計 144,007

【経常費用】

【事業費】

市民講習事業①② 85,000

講師コーディネート事業③④ 0

準CITA認定講習事業⑦ 16,000

CITA指導者養成講座事業⑦ 13,000

(人件費)

人件費計 0

(その他経費)

旅費交通費(事業) 2,000

通信運搬費(事業) 9,000

その他経費計 45,000

事業費 計 170,000

【管理費】

(人件費)

人件費計 0

(その他経費)

旅費交通費 1,000

通信運搬費 35,000

減価償却費 0

リース 料 6,000

支払手数料 1,000

雑 費 1,000

その他経費計 44,000

管理費 計 44,000

経常費用 計 214,000

当期経常増減額 △ 69,993

【経常外収益】

経常外収益 計 0

【経常外費用】

経常外費用 計 0

税引前当期正味財産増減額 △ 69,993

当期正味財産増減額 △ 69,993

前期繰越正味財産額 1,200,059

次期繰越正味財産額 1,130,066